



金沢百万石

Kanazawa Hyakumangoku

Kanazawa Million Weekly Bulletin No. 0389 8.31 2006

お盆に行った韓国での写真です。



* 朝鮮時代最高の医師で、「東医宝鑑」の著者である実存した人物ホジュンの銅像です。

ホジュンに関する公式サイト



ホジュンホームページより

htt

p://www.koretame.com/hojun/です。

詳しくお知りになりたい方はアクセスしてください。金浦空港の近くに約2年前に記念館ができました。今回、記念館に寄ったときに隣の公園で写したものです。

* 妾の子という自らの運命に屈することなく、強靱な意志とたゆみない努力、そして弱者に対する限りないやさしさを持って人生を切り拓いたホジュン。自らの運命を悲観し、密貿易に手を染めるならず者だった彼が、生涯の師となるユ・ウィテとの運命的な出会いを経て生涯の目標を見つけ出し、身分制のくびきを克服して正一品の地位まで昇りつめ、さらには中国や日本にも伝えられ、東洋医学に大きな影響を与えた朝鮮医学の集大成「東医宝鑑」25巻を著した人です。

村田祐一会員提供

お知らせ 10/26例会 高島正光ガバナー補佐 11/2例会 ガバナー公式訪問 荒井公夫ガバナー
金沢百万石クラブのホームページアドレス(URL)が8/22に変更しました <http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/> です



パイロットウォーク(齋木妙子委員長) 脳関連障害の人々への支援です。

10/1(日)
10~12時、
金沢城を一周します。集合は金沢21

世紀美術館です。多くのご参加をお願いいたします。会費1000円。

例会予定

- 8/24 会員卓話：大平政樹会員(大平胃腸外科クリニック院長)「縄文時代の信仰」
- 8/31 卓話：香田 裕泰氏(音楽家)『音楽を楽しむ』
- 9/7 卓話：小里 仁 様(朝日新聞社)
- 9/14 卓話：山本 哲也 様(NHK金沢放送局 局長) 理事・役員会
- 9/21 卓話：孔 令宇 様(米山奨学生)
- 9/28 卓話：高岡 輝雄 様(喫茶店「Kaga」店主) 二次会 『美味しいコーヒーは如何ですか?』

会員消息

前田宏智会員 伝統工芸の奨励賞を受賞
金沢展は11/3~12です。

2006-07年度

理事・役員 会長(役員)：江守巧 会長以外(役員)：金沂秀 副会長(役員)：北山吉明 齋木妙子
 幹事(役員)：江守道子 副幹事：宮本薫子 会計：池田裕之 直前会長：二木秀樹
 クラブ奉仕委員長：村田祐一 職業奉仕委員長：齋木妙子 社会奉仕委員長：東海林也令子
 国際奉仕委員長：大平政樹 新世代委員長：水野陽子 監査：後出博敏 例会：宮崎芳弘 SAA：村田祐一
 RC 情報：木村陽子 広報：宮永満祐美 会報：石丸幹夫 増強拡大：岩倉舟伊智 修練選考：吉田昭生
 炭谷亮一 木場紀子 企画：北山吉明 親睦：木村幸生 友好：西村邦雄 R財団土田初子
 米山委員長：吉田昭生 地域発展：谷伊津子 (事務局) 相川晶代

例会会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00
 事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町3-2 T262-2211 F262-2241
 E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホムペーシ URL <http://www.hokuriku.ne.jp/million/>
 事務局執務時間 月火水金 10:00~16:00 木 15:00~20:30 休憩時間 12:00~13:00 休日 土日祝日



例会便り

389回 ホテル日航5F
2006.8.24

出席率 18/35 51.43%
6月修正出席率 84.74%

村田 S A A

点鐘

SONG: 『我等の生業』
四つのテスト

会長ト挨拶：先日からご案内して
いますパイロットウオークはクラブ
の齋木さんが実行委員長です。この
活動は米国で最高の評価を受けてい
ます。多数ご参加下さい。



特別ゲストは米山奨学生 孔 令宇さん。メイキャップビジター なし
今月の誕生者の紹介 8/25 西村邦雄会員
皆出席者の顕彰1カ年北山吉明会員 (欠席)
米山奨学生 奨学金の支給 孔 令宇(こう れいう) さん

《 食 事 》

幹事報告・委員会報告

宮本薫子副幹事より：本日例会後、理事役員会がありますので理事役員の方は宜しくお願ひします。
10/21.22の地区大会の登録のキャンセル・追加のメ切が8月末になっております。
登録者名簿を回覧しますので、ご確認の上事務局まで連絡してください。



ニコニコBOX

¥13,500 本年度合計 ¥183,000 残高 ¥4,916,608-

江守会長 今日は、大平会員の卓話を楽しみにしています。孔さん、ようこそ。石丸会員 休会が
あったのでお久しぶりです。やっとクラブ要覧も出来たし、新しいサーバー(OCN)でクラブホームペ
ージも立ち上げました。どんどんホームページや会報に記事を書いてください。金会員 皆様、宜し
く。宮本薫子会員 7月最終例会後に行われた親睦会の会費が少し余りました。それをニコニコボッ
クスに入れます。そして、西村会員 明日25日は、お誕生日ですね。おめでとございます。

村田会員 暑い日が続きますが、お盆休みは如何お過ごしでしたか？ 大平会員、卓話楽しみにしてい
ます。岩倉会員 大平会員の卓話、楽しみにしています。

講話の時間

「縄文時代とその信仰について」

大平 政樹 会員(大平胃腸外科クリニック 院長)



本日は今から一万年ほど前の縄文時代のお話をします。最初に時間の
単位を知っていただくために地球の歴史から入りましょう。地球
が誕生したのは約46億年前。生命の誕生は40億年前。恐竜は二億
二千年前。人類の祖先、猿人は500万年前に生まれたと言われてい
ます。一年に置き換えると、二月の終わりから三月にかけて生命が
誕生。12月13日から2週間ほど恐竜の時代。猿人は大晦日午後2
時半頃に、直接の祖先新人類は年越しの
約4分半前に登場しました。世界の四大文明は約1万年前、時間に
すると1分8秒くらい前に地上に現れました。ちょうど日本で縄文
文化が栄えた時と重なります。これまでは

縄文時代は狩猟採取の時代。毛皮を身につけ、定住せず放浪生活だ

ったと言われていました。しかし、青森三内丸山遺跡の発掘により、その頃既に豊かな都市生活が営まれていたこ

とが分かってきました。ヒエや粟の栽培。翡翠や
黒曜石の装飾品。大きな竪穴式住居、そして埋葬
地。すべてが定住生活と豊かな精神生活を物語っ
ています。縄文人は今のバイカル湖付近から、北
回りに陸地づたいに南下してきた可能性が最も高
いのですが、当時の東北地方は今より約二度気温
が高く、とても住みやすい気候でした。縄文時代
で最も特筆すべきことは、彼らが戦争をしなかつ
た。それも一万年の長きに渡って、平和が続いた
ということです。弥生によってもたらされた農耕
文明が、生産の余剰と戦争を生んだことを考える



と、日本史上縄文時代ほど平和で心豊かな時代はなかったと言えます。日本の原始信仰アニミズムと血縁を主体と
した集団生活。これらが複雑に絡み合っ、自然と共生しようとした縄文のすばらしさが見えてきます。石川は縄

文と弥生の遺跡が約半分ずつと文化の狭間の地であり、同時に大陸文化の入り口でもありました。能登（ノツ=あご） 珠洲（スツ=岬）など、石川に残る縄文語は数多く、一方弥生語として、羽咋（ハング=港）富来、熊本などが残っています。一万年前、上空から眺めた日本は関東、東海はほとんど海の中であり（縄文海進）、煙が立ち上る文化の先進地帯は、東北であり、北陸だったのです。日本海こそが表日本であり、我々の DNA、心、文化、信仰すべてが東アジアという大きな地域の中で育まれてきたことは間違いのない事実です。これからの時代を生きるために縄文から学ぶことは限りなく多いことをお伝えして終わりたいと思います。

点鐘

近郊ロータリークラブの例会変更

金沢南 R C 9/19 (火) 休 会

金沢みなと R C 9/19 (火) 休 会

9/26 (火) 物故会員、特別代表、ご令室追悼例会 光明寺 点鐘 12:30

白山 R C 9/5 (火) 9/3 (日) クリーンビーチ例会 (徳光 C C Z 海岸清掃) 点鐘 8:30 シーサイド松任

百万石口 - タリ - クラブ青少年交換訪問紀行文

1. 日本から戻って

パクヒョンミン (バクマンス会員の子)



小松空港に到着した。入国の手続きを終えると、キムキスさんを始め、多くの方が歓迎してくれた。一緒に写真を撮ってそれぞれ宿泊する家へ向かった。

僕は江守さんの宅で宿泊することになった。車の外に見える景色はとても美しかった。田や畑がずっと広がっていて、高いビルが全然ないため、遠くまできれいにみえた。山もまるで手が届くようである。街もきれいでコミーつ落ちていなかった。

清潔な街は韓国と比べてうらやましいと思った。韓国の街もきれいになればいいなと考えた。いよいよ江守さんの宅に着いた。まいこさんが僕とソンジュンが泊まる部屋に案内してくれて、カバンをあけた。7時頃に食事をしに行くらしい。右も左もわからないから食事をしに行くま

で居間で休んだ。

7時になってご飯を食べに行った。日本語で書かれているからどんな食堂かはわからない。多分焼肉屋のようだ。肉以外にも色々食べ物が多かった。キムキスさんが食べたいものは好きにもってきて食べてもいいと言ってくれた。わくわくして気分がとてもよかった。食べたかったものをいろいろと選んで沢山食べた。

江守さんが焼いてくれた肉は特別においしかった。食べながら江守さんと沢山の話をした。緑色のファンタも飲んでみた。韓国では見たこともなかったので新鮮だった。おいしかった。もっとも記憶に残るのはたこ焼だった。光州にもたこ焼きを売っているが、韓国のたこ焼きは比べられないほどおいしい。

食事を済まして家に戻った。あまりにも疲れて、風呂も入れずに深い眠りに落ちた。

翌日は寝坊をして、まともに顔も洗えず、家を出た。車で駅へ向かった。駅はとても大きかった。まるでワールドカップ競技場のようだった。そこからバスに乗って、ガイドの案内を受けながらあちこちを観回った。

全てが日本語だったので、さっぱりわからなかった。日本にくる前にもう少し頑張って勉強すればよかったのにと後悔した。まいこさんが英語で説明することに耳を傾けながら理解しようと努力した。

一番、記憶に残るのはトイレであった。公衆トイレであるにもかかわらず、韓国では考えられないほど清潔で、いくら誉めても足りないほどよかった。良い香りがした。何度も入りたいたいと思った。

お昼を食べに行ったところのエレベ - タはとても早かった。一瞬のうちに着いてエレベ - タのドアが開くことに驚きをおぼろげにすることができなかった。我が家のある「韓国ハイツマンション」は腹が立つほど遅いの、この速さには感動した。お昼を済ました後、再びバスに乗って他のところをまわった。

金箔工房へ行ったが、とても不思議だった。大きさがどんどん伸びていくが、手で擦るとなくなってしまふほど薄かった。

沢山のところを観回って家にもどった。今日は口 - タリクラブの集いがあると言われ、またとこかへと向かった。その集いで自己紹介をしないといけないので、皆さんがわかってくれるかなと、心配はあったが勇気を出して自己紹介をした。幸いになんとか分かってもらったようだった。

自己紹介が終わって、キムキスさんが私達だけで時間を過ごせるように、下の階にある喫茶店に連れて行った。皆はお互いよくわからないので、気ごちない雰囲気だった。自分達だけで楽しむことはできず、みなと別れて家にむかった。

帰りの途中、江守さんがス - パへ行こうと誘ってくださった。日本のス - パがみたかったので行きたいと返事した。ス - パと言われたから韓国のことを想像して小さい店だと思ったが、行って見たら驚くほど大きかった。聞いてみると、この位の店はみなス - パと呼ぶそう。韓国の大型のセンター - が日本ではス - パになることで、呼び名の差であることがわかった。

家に戻ってパソコンをしてみたり、テレビもみた。テレビをみても言葉がわからないから訳はわからないが、分かるふりをしながらみた。画像だけでもおもしろかった。

パソコンのキ - ボードは日本語になっているため、ハングルは打つことが全然できなかった。とても不便だった。すべて英語で検索して、メセンジャの時も、友たちと英語で対話した。

翌日は遊園地へ行くらしい。遊園地は思ったより小さかったが、乗り物は面白かった。中にはゲ - ムセンタ - もあったが、韓国のゲ - ムセンタ - とは多少、違いがあった。韓国にあるゲ - ムは全然なかった。2階建ての建物で、2階には児童用品を販売していた。

今も子供達の英雄はウルトラマンのようである。ウルトラマン一色であった。可愛いウルトラマンのカバンがあって、買いたかったが財布を置いてきて、買えなかった。残念だった。

遊園地には興味深い乗り物がいっぱいだった。特に、観覧車は始めて乗ってみるもので、とてもおもしろかった。

家に戻ってから、まいこさんに220Wのプラグがありますかと聞いたら、ないといわれた。そうすると、デジタルカメラの充電ができないから、220Wに転換できるドランスが必要になる。まいこさんをお願いしたら、電器屋で買えるようにするといわれた。よかった。写真が撮れないかと心配したが、これで一安心だ。

疲れたので昼寝をしていたら、夕食を取るごろにソングンが起こしてくれて半分寝ぼけた状態で食事をした。ご飯を食べながら自分がしゃべりすぎたせいか、みな僕に、おしゃべりのように見えると言った。そうかな。食事を済まして電器屋へドランスを買いに行った。

大きい店だ。店は2つあるがその中で大きい方らしい。そこにはドランスがなかったので他のの店に行った。小さい店も小さくはなかった。大きかった。いったい、小さいという概念の基準がわからない。必要とするドランスがあったので、自分のお金で買おうとしたが、江守さんが自費で買ってくれた。申し訳ない気持ちでいっぱいだったが、江守さんは他にも使い道があるだろうと言った。

家に戻ってから、パソコン通信をした。日本のパソコンで韓国の友人と通信することがあまりにも面白くて、夜1時過ぎまで続けてそのまま寝込んでしまった。

次の日はユンボンギル義士のお墓参りをした。ユン義士の墓が日本にあることが残念で、もう少し素敵な墓になればと思った。黙とうをして他の場所へ移動した。

文化体験のできる場所のようだ。なかにある食堂でお昼を食べた。素麺はとてもおいしかった。食事が済んで、キムキスさんが、体験してみたいものがあれば、まいこさんと一緒にまわりながらやってみればと言った。いろいろな観るものがあった。

ガラス工芸品やオルゴールもあった。あるコ - ナにいくと、料理の体験コ - スがあってパンのようなものを作ってみた。呼び名はわからない。自分が考えても上手に焼き上がった。上等なものにできだと思ふ。

夜は江守さん宅でパベキュバ - ティをした。しかし、途中少し眠ってしまって遅れて参加した。韓国の方がきてくれた。美術の先生らしい。日本人だと思って「韓国語できますか。」と聞いたら、「もちろん、できるぞ」と韓国語でいわれた。恥ずかしかった。ふたりで沢山の話をし、パ - ティが終わるごろに花火をした。

日本の夏に花火は欠かせないものであるらしい。小さいものだが楽しかった。4つを一緒に打ち上げようとしたが、倒れてしまって人に向かって発射されて、大変なことになった。幸い怪我人はいなかった。パ - ティが終わり、訪問した学生みな江守さんの家で泊まることになった。その日からみな中良しになった気がする。

次の日は買い物のため、お金を使う時間が待っていた。地元である光州の「チュンジャン路」より観るものは少なかったが、かなり異風景である。2時に約束をし、ばらばらになってみることにした。

衣類が沢山並べてあって、素敵な人が大勢いた。人形のような変わった服を着ている人もいる。素敵な服が沢山みえて、買いたかったが高すぎる。観ることだけにして写真を撮ることで我慢した。100円ショップもあったが、安いものばかりであり買いたいと思うものはなかった。

途中、キムキスさんと会ってイタリア料理を食べに行った。スパゲティを食べた。何の味かはわからなかったが美味しかった。筆記道具を買うためにデパ - トに行ったが、あまり興味を引くようなものはなかった。

デパ - トを出て回転寿司へ行った。ぼくは何よりも寿司が好きなので食べる気満々であった。やはり寿司はうまかった。23皿も食べたので消化するのに相当の時間がかかった。

最後の日、空港へ向かう前に博物館に寄ることにした。時間が早すぎるため、一部の展示室しか開いてなかった。全部みることはできなかった。

お昼はラーメンを食べた。美味しかった。周りにある店を歩き回ってから小松空港に向かった。別れの寂しさを後にして韓国行きの飛行機に身を乗せた。日本は素敵な国であった。また機会があれば是非、訪ねてみたい国である。

2. 日本から戻って

オハンス (オハンヨン会員の子)



今度の夏休みは日本に行ってきた。初めての海外旅行で少し緊張した。光州空港からキンポ空港まで国内便で行って、リムジンバスでインチョン空港に向かった。到着してからも時間がかかり余っていて、お昼を食べたり空港内をうろろうしてから出発した。

外国だから言葉が通じなくて少し不便だった。荷物をとって出ていくと、キムキスさんの一行が待っている。江守さんが記念写真を撮ろうと提案して、写真を撮ってから各自、自分がホ - ムステイする家へ向かった。ぼくはチョンファンとスミアさんの家に泊まることになった。

言葉が通じないことで心配ばかりしていたが、予想外に良く通じる。ついでに英語で話すのも挑戦してみた。

夕方はバイキングへ行った。種類が多くて全部は食べられなかったが、食べたものはみな美味しかった。翌日は金沢市の観光をした。城で漫画やドラマで見たようなものも見物したり、綺麗な着物もみせてもらった。山に登って金沢市内の全景をみたが、とても美しかった。古い屋敷が沢山あった。百万石口 - タリ - クラブの会合に参加して自己紹介をした。日本の遊園地に行ってみたが、光州の「ファミリーランド」より小さくて少しがっかりだった。でも楽しかった。夕方はパベキュ - パティをした。肉質が国のものとは少々違う気がしたが、美味しかった。パベキュ - パティと言われて肉ばかりだと思ったのに、ピザやスパゲティなど他の食べ物が沢山あって、日本のパベキュ - のもつ意味が把握できた。5日目の日は買い物をした。買うのは買ったのだが、考えてみると間違えて買ってしまって後悔をした。でも勘定する時に日本語でしゃべってみたのがよかった。自分が偉いと思われる。回転寿司はすぐお腹がいっぱいになって、沢山食べられなかったのが残念だった。日本の家は、シャワールームとトイレが別々になっているし、左側通行や交通秩序をよく守る。大勢の人が自転車を使うし、食事のあとに残す食べ物も少ない。日本に対する韓国人の認識が良いとは言えないが、できればもっと理解しようとする姿勢や知ろうとする考え方を持ったほうがいいと思った。今度の夏休みは実に意味深い時間を過ごした。滞在の間、おもてなしの世話をしてくださったスマアさん夫妻と、百万石口 - タリ - クラブ会員の皆様に感謝の気持ちを申し上げます。

3. 金沢から戻って

ソンヒョンジュ (ソンジュンヨン会員の子)



こんにちは、私はカクワ中学校3年に在学しているソンヒョンジュです。父は南光州口 - タリ - クラブの会員であるソンジュンヨンです。

小学校5年生の時、金沢に行った事があります。その時は大人達と一緒にだったが、今度は私たちだけで、光州空港を出発して小松空港まで行く旅程なので、より思い出に残る旅になりました。

小松空港は始めてで、思ったよりは小さかったが、静かで綺麗な感じの空港でした。百万石クラブの会員の皆さんが盛大に歓迎してくださって、感謝の気持ちとともに緊張感もなくなりました。

金沢の訪問期間の間、公園、神社、市内観光など多くのところに行きましたが、もっとも印象深かったのは、ユンボンギル義士のお墓と記念碑でした。何年か前、中国のサンハイに行った時、フクウ公園でユンボンギル義士のお墓をみてとても驚きまして、日本でなくなったユン義士の愛国心を考えると心が痛みました。金沢に住む在日韓国人の努力で、記念碑を建てたという話をきいて、なんなく感謝の気持ちでいっぱいでした。

私は大原さんの家でホ - ムステイをしました。家の構造は国のものと異なったが、住み心地がよくて自分にとっては新しい経験でした。過すあいだ、親切にしてくれた家族や友達、お姉さんに感謝します。私達と一緒に泊めてくれた江守会長夫妻や通訳と案内をくださったキムキスさんに心からお礼を申し上げます。

日本の食べ物は、国にいるときも時々接したので、あまり抵抗感なく食べられて、新しい食べものに会う時は、とても楽しく思いました。

戻るまでよく世話をしてくださった百万石クラブの皆様に改めて感謝し、来年、南光州口 - タリ - クラブに来る日本の学生を、心から受け入れるし、最善をつくして世話する考えです。

最後に、私が金沢に行けるように機会を与えてくれた南光州口 - タリ - クラブ会長や会員の皆様に感謝し、私も大人になったら奉仕する生活ができるように頑張ります。ありがとうございました。

4. 日本から戻って

キムハヌル (キムジョンソク会員の子)



訪問の前から沢山の話を聞いたせいか、胸騒ぎがするほど期待に満ちる旅である。しかも単なる旅行ではなく、他国で見知らぬ普通の家庭でホ - ムステイとして5泊6日間も生活することだから、実に大変なことになりそうだ。

自分たちでインチョン空港から日本までいくことも楽しかった。自分がまるで大人になったような気がする。

心配半分期待半分で行ったが、それは全部無用であって、皆さんは親切でおもてなしに受け入れてくださった。日本に対する初印象は町並みがきれいだなということだった。変わったことは、自動車の運転席が反対で、もちろん、車線も反対だ。

私が行った家には、一つ年上のお姉さんがいた。みな親切で何から何までよくしてくださった。自力で早く起きられないから、毎朝起こしてくれたり、美味しい朝ご飯に、いつも一緒に同行してくださったことに心から感謝している。

日本語は一言も言えないので韓国で買った「日本語の会話」という本をもって、簡単な言葉を言って見たが、それきりのことで、結局、世界共通語である英語を使った。今度の旅行を通じて自分の英語で話が通じるということ

に、自信をもつようになった。

沢山の場所へ行ったが、思い出深いのは3ヶ所である。遊園地、ユンボンギル義士の記念碑、日本文化の体験するところがもっとも記憶に残る。ユンボンギル義士の記念碑が日本に所在していることには驚いた。日本の文化を体験できる今回のような機会がまた、あればいいと思った。

今回の機会を与えてくれた南光州口 - タリ - クラブの会員の皆様に感謝し、日本でお世話になった皆様に心をこめて感謝を申し上げます。

5. 日本から戻って

キムソンジュン (キムヒボン会員の子)



近くて遠い国といわれる日本は、是非行ってみたいと思っていたが、今度、父が所属している南光州口 - タリ - クラブの推薦で、5泊6日間の日程で行けることになったのは、自分にとっては特別な経験になりました。

今までの旅行は、いつも父や家族と一緒にだったが、今度の旅行はひとりですることやホテルではなく、一般の家庭で泊まらないといけないことについて、期待も大きかったが、心配にもなり、負担感もありました。

負担感と心配を抱えて、光州空港を出てキンポ空港経由で、日本に無事到着しました。心配したことが恥ずかしいほど、ホ - ムステイする家の家族はとても親切で、細かいところまで気を使ってくれて、不便なことなく、泊まることができるとともに、日本の家庭生活の経験ができるいい機会になりました。

5泊6日間、日本に泊まりながらコミひとつ落ちていない町並みや、公園と公共の場所がみな綺麗なことをみて、規則を守り、公共の場所を大事にすることを学ぶべきであると考えました。

ユンボンギル義士の記念碑に参拝した時は、奪われた祖国のために、他国で処刑されるしかなかったユン義士と、当時の国の状況が思い浮かびました。

旅行のあいだは、ずっと英語を使って話をしたが、自分はやっと聞き取れただけで、あまり話すことはできませんでした。やはり外国へ行ってみると、言葉の必要性を感じるようです。これから英語の勉強にもっと力をいれるべきであると考えました。

5泊6日間、日本でのホ - ムステイという特別な体験は、普通の家庭の日常生活や文化について多くのことを学べる特別な旅行でした。大事な経験ができるように機会を与えてくださった南光州クラブに心から感謝し、自分も一人まえに成長して、周りの人々のために奉仕できるひとになりたいと思います。

6. 日本から戻って

ソンジョンファン (ソンテハン会員の子)



7月26日5時30分、日本へ行くという期待で遅くまで眠れなかったが早く目が覚めた。どきどきする気持ちで空港へ行くと、みなすでに来ていてうれしく挨拶をした。

久しぶりに乗る飛行機で気分が透かすかしかかった。天候がよくなって心配だったが、飛行機から下を見下ろすと、旅に出ることを実感した。日本行き飛行機に乗るにはまだまだ余裕があって、インチョン国際空港のあちこちを観回った。

小松空港に到着すると旅行会社の支社長が歓迎してくれた。キムキスさんの車でホ - ムステイをする家へ向かった。歯科医者だと聞いて怖そうな感じがしたが、暖かく歓迎して下さった。キムキスさんは滞在のあいだ、ずっとガイドをしてくれて苦労せずに日本旅行を済ませることができた。

もっとも記憶にのこるのは、遊園地と買い物である。遊園地は小さいと思ったが、大きいげ - ムセンタ - や動物、そして、乗り物も数多くあった。子犬もいてあまりにも可愛くて、飼いたいと思った。

5日目の買い物の時は、市内と百貨店に行ってみた。百貨店の風景は韓国と似ていたが市内は少々異なった。韓国は全体的に複雑に建物が建てているが、日本は街のなかに集中しているように見えた。

百貨店で土産とペンを買った。並べている製品は韓国と同じようなものにみえた。どこへ行っても、公共トイレや街がとても綺麗だった。

百万石口 - タリ - クラブの集いで日本の友たちに会ったが、日本語が下手で会話することは考えることすらできなかった。旅行先の言葉や風習、文化などに対する事前学習が出来たら、より多くのことが学べるのに、準備不足のことを後悔した。

日本の家庭で生活してみたことは、長く記憶の残りそうだ。帰りの飛行機の中で考えが多かった。勉強も頑張っていて、親のいうこともよく聞き、姉にはよい弟になろうと・・・全てのことに頑張っていて、また機会が与えられるならば、是非もう一度行きたい。訪問のあいだ、ホ - ムステイを受け入れて下さった家族や、キムキスさんに改めて感謝の気持ちを申し上げます。